

第13回宇宙開発委員会（定例会議）
議 事 次 第

1. 日 時 平成5年9月8日（水）
 14：00～14：15
2. 場 所 宇宙開発委員会会議室
3. 議 題 (1) 前回議事要旨の確認について
 (2) 平成5年度外国人招へいについて
4. 資 料 委13-1 第12回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）
 委13-2 平成5年度宇宙開発委員会外国人招へいについて
 （案）

委 1 3 - 1

第 1 2 回宇宙開発委員会（臨時会議） 議事要旨（案）

1. 日時 平成 5 年 8 月 3 0 日（月）
1 5 : 0 0 ~ 1 5 : 3 0
2. 場所 宇宙開発委員会会議室
3. 議題 (1) 前回議事要旨の確認について
(2) 平成 6 年度における宇宙開発関係経費の見積りについて
4. 資料 委 1 2 - 1 第 1 1 回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）
委 1 2 - 2 - 1 平成 6 年度宇宙開発関係経費概算要求（案）
委 1 2 - 2 - 2 平成 6 年度における宇宙開発関係経費の見積りに
ついて（案）

5. 出席者

宇宙開発委員会委員長代理

宇宙開発委員会委員

〃

〃

野 村 民 也

内 田 勇 夫

田 島 敏 弘

山 口 開 生

関係省庁

通商産業省機械情報産業局次長

運輸省運輸政策局次長

運輸省気象庁総務部長

郵政大臣官房審議官（通信政策局担当）

荒 井 寿 光（代理）

永 井 陸 男 〃

大 辻 嘉 郎 〃

岡 井 元 〃

他

事務局

科学技術庁研究開発局長

科学技術庁長官官房審議官

科学技術庁研究開発局宇宙企画課長

石 井 敏 弘

宮 林 正 恭

坂 田 東 一

他

6. 議事

(1) 前回議事要旨の確認について

第11回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（資料委12-1）が確認された。

(2) 平成6年度における宇宙開発関係経費の見積りについて

事務局から資料委12-2-1及び委12-2-2に基づき説明が行われた。野村委員長代理から、運輸多目的衛星との関連で、実利用の人工衛星を外国のロケットにより打ち上げる場合の取扱いについて、宇宙開発委員会の所掌との関係につき確認の発言があり、事務局から、「昭和43年の宇宙開発委員会設置法案の国会審議における政府及び各党統一見解では、実利用の人工衛星の打上げ手段について内外のロケットを区別しておらず、従って、我が国の実利用の人工衛星を外国のロケットで打ち上げる場合でも、『打上げ』として宇宙開発委員会の所掌に入るものである。」旨の説明がなされ、本件は原案どおり決定された。

委 1 3 - 2

平成 5 年度宇宙開発委員会外国人招へいについて（案）

平成 5 年 9 月 8 日

宇宙開発委員会

決 定

平成 5 年度における宇宙開発委員会外国人招へいとして、下記の 1 名を平成 5 年 9 月 8 日から 1 2 日の間（5 日間）招聘することとする。

記

Mr. Alexander Medvedchikov
Deputy Director-General
Russian Space Agency

招へい目的

平成5年9月9日（木）、10日（金）の日程で、東京の芝パークホテルにおいて、第1回アジア太平洋地域宇宙機関会議を開催する。

同会議は、昨年のプレ・アジア太平洋国際宇宙年（ISY）会議（3月）及びアジア太平洋国際宇宙年会議（11月）において当該地域での宇宙活動に係る協力の重要性が認識されたことに基づき、国際宇宙年の終了後においても継続的に年一回開催されることが提唱されたものである。

他方、ロシアについては、宇宙開発に関し高いポテンシャルを有しており、今後、日本とロシアの協力関係の進展が期待されているところである。

そこで、ロシア宇宙庁副長官であるメドベチコフ氏を同会議に招へいし、同国の宇宙開発プログラム及び今後の宇宙活動について意見交換の場を提供するとともに、宇宙開発委員会等とも意見交換することは、今後わが国が宇宙開発活動を進めていく上で有意義であると考えられる。

招へい者略歴

1. 氏名： アレキサンダー・メドベチコフ
(Mr. Alexander Medvedchikov)
2. 性別： 男
3. 生年月日： 1946年9月9日
4. 所属機関： ロシア宇宙庁 (RSA)
5. 現在の地位： RSA国際関係担当副長官
6. 学歴： 1970年 モスクワ航空研究所卒業
7. 職歴： 1970年 ラボチキン国営企業に入社
1991年 ゴルバチョフ前大統領の宇宙システム担当専門家として
勤務
1992年 RSA国際関係担当副長官

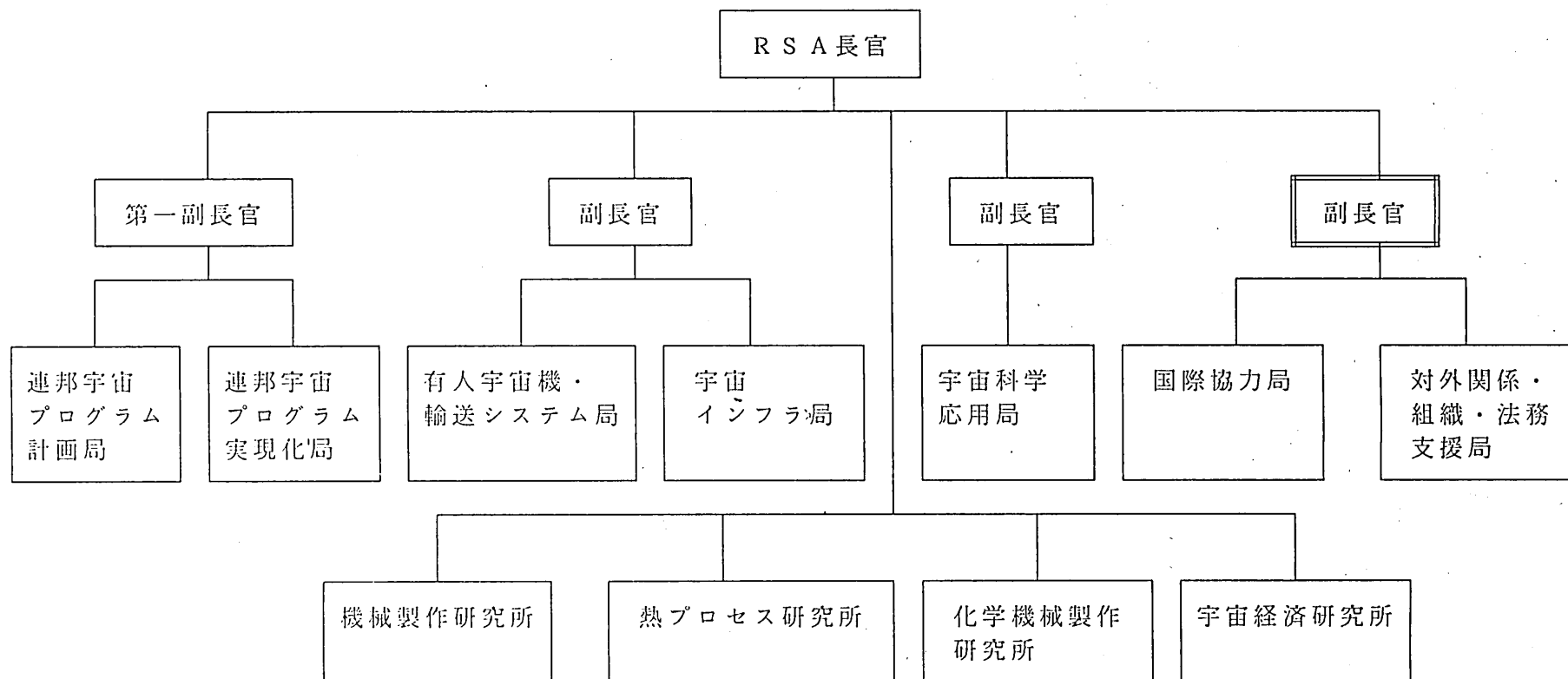
招へい者所属機関概要

ロシア宇宙庁（RSA）

ロシア宇宙庁（RSA）は、1992年2月の大統領令に基づき同年4月に設立され、ロシアの宇宙に関する国家計画の策定、国際協力、民生用宇宙機器開発の発注を担当する。国家計画の策定に当たっては国防省の宇宙部門と調整、国際協力については外務省と協力して進めている。

RSAは、本庁に220人の職員を有し、長官と4人の副長官の下に連邦宇宙プログラム計画局、連邦宇宙プログラム実現化局、有人宇宙機・輸送システム局、宇宙インフラストラクチャー局、宇宙科学応用局、国際協力局及び対外関係・組織・法務支援局の7局を有する。また、所轄研究所として機械製作研究所、熱プロセス研究所、化学機械製作研究所及び宇宙経済研究所を有し、総勢3万人の規模をもつ。

ロシア宇宙庁（RSA）組織図



招へい者滞在日程（案）

			宿泊地
9 / 8	(水)	(1)成田空港着 ホテルへ移動 (2)宇宙開発委員会等との意見交換	東京
9 / 9	(木)	(1)第1回アジア太平洋地域宇宙機関会議参加 (2)レセプション	同上
9 / 10	(金)	第1回アジア太平洋地域宇宙機関会議参加 (自国の宇宙開発プログラムに係るプレゼン テーション及びアジア太平洋地域の国際協力 に関するディスカッション)	同上
9 / 11	(土)	東京都内視察	同上
9 / 12	(日)	成田空港発	

第1回アジア太平洋地域宇宙機関会議

The First Session of the Asia-Pacific Regional Space Agency Forum (APRSAPF-1)

平成5年9月8日

STA、ISAS、NASDA

1. 日時：平成5年9月9日（木）～9月10日（金）

2. 場所：芝パークホテル

（会議場：本館3階「牡丹の間」、レセプション会場：別館2階「アイビー」）

3. 主催：科学技術庁、文部省宇宙科学研究所、宇宙開発事業団

協力：（財）リモートセンシング技術センター

4. 趣旨：

この会合は、昨年開催されたプレ・アジア太平洋 I S Y 会議及びアジア太平洋 I S Y 会議のフォローアップ会議として、アジア太平洋地域の宇宙機関が一堂に会し、自国の宇宙開発プログラムについて発表し、意見交換を行い、今後の宇宙分野における域内の連帯と協力のあり方について具体的な方策を探ることによって、アジア太平洋地域における宇宙開発のレベルアップを図り、域内諸国の社会・経済の発展及び地球環境保全に寄与することを目的とする。

5. アジェンダ

9月9日（木）

9:30～10:20 レジストレーション

10:25～10:30 開会挨拶： 科学技術庁研究開発局長 石井敏弘

10:30～10:45 基調講演： 宇宙開発事業団理事長 山野正登

10:45～11:00 基調報告： 科学技術庁宇宙国際課長 藤田明博

11:00～12:30 ナショナル・スペース・プログラム（各国約15分ずつ：オーストラリア、パキスタン、カタール、中国x2）

12:30～14:00 昼食

14:00～15:30 ナショナル・スペース・プログラム（各国約15分ずつ：ESCAP、インドネシア、日本x2）

15:30～16:00 コーヒーブレイク

16:00～17:30 ナショナル・スペース・プログラム（各国約15分ずつ：韓国x2、マレーシア、モンゴル）

18:00～20:00 レセプション

歓迎挨拶： 宇宙開発委員長代理 野村民也

乾杯： 元アジア太平洋 I S Y 会議議長 齋藤成文

9月10日（金）

10:00～11:30 ナショナル・スペース・プログラム（各国約15分ずつ：パキスタン、フィリピン、ロシア、シンガポール、タイ）

11:30～13:30 昼食

13:30～16:00 アジア太平洋地域の国際協力に関するディスカッション

議事進行： 文部省宇宙科学研究所所長 秋葉隼二郎

内容： NASDA等日本側よりリモセン、トレーニング等の協力の可能性について紹介し、フリーディスカッションを行う。

16:00～16:30 コーヒーブレイク

16:30～16:40 ディスカッションのまとめ： 文部省宇宙科学研究所所長 秋葉隼二郎

16:40～16:45 閉会挨拶： 科学技術庁研究開発局長 石井敏弘

<会議参加予定者（アジア太平洋地域の宇宙機関等—14カ国、1国際機関が計20名）>

（国名：アルファベット順、*はS A Fメソッド-国、**はS A Fメソッド-機関）

*AUSTRALIA:

<Dr. John Boyd>（豪州宇宙局次長）
Deputy Executive Director,
Australian Space Office(ASO)**

BANGLADESH:

<Mr. Abu Abdullah Ziauddin Ahmad>（宇宙リモートセンシング機関所長）
Chairman,
Bangladesh Space Research and Remote Sensing Organization(SPARRSO)

*CANADA:

<Mr. Michel Giroux>（カナダ宇宙庁国際課長）
Director, External Relations,
Canadian Space Agency(CSA)**

*CHINA:

<Prof. Quan Lin>（中国国家科学技術委員会基礎研究高等技術部長、
及び国家リモートセンシングセンター所長）
Director of the Department of Fundamental Research and High Technology
State Science & Technology Commission of China(SSTCC)**,
and Director of National Remote Sensing Centre, SSTCC
<Mr. Baozhu Guo: 郭宝柱>（中国国家航天局外事司副司長）
Vice Director of the Department of Foreign Affairs,
China National Space Administration(CNSA)
<Mr. Yongzeng Cheng: 程永曾>（中国航天科技国際交流中心副主任）
Vice President,
China International Exchange Centre for Space Science and Technology(CIECS)

ESCAP:

<Mr. Changchui He>（ESCAP地域リモートセンシングプログラム、アドバイザ-兼コーディネーター）
Regional Advisor/Coordinator
ESCAP Regional Remote Sensing Programme
United Nations Economic and Social Commission for Asia and the Pacific
(ESCAP)

*INDONESIA:

<Prof. Dr. Harsono Wiryosumarto>（インドネシア国立航空宇宙研究所所長）
Chairman,
Indonesian National Institute of Aeronautics and Space(LAPAN)**

KIRIBATI:

<Mr. Tokia Greig>（キリバス運輸通信観光省首席次官補）：オブザーバー参加
Senior Assistant Secretary,
Ministry of Transport, Communication and Tourism
<Mr. Inatio Teanako>（キリバス電信電話公社専務取締役）：オブザーバー参加
Managing Director,
Telecom Kiribati Ltd.

*KOREA:

<Prof. Soon Dal Choi> (韓国科学技術高等研究所、人工衛星技術研究センター所長)
Director, Satellite Technology Research Centre (SaTReC)
Korea Advanced Institute of Science and Technology (KAIST)
<Dr. Jang-Soo Ryu> (韓国航空宇宙研究所宇宙研究開発部長)
Director of Space Research and Development Division,
Korea Aerospace Research Institute (KARI)**

MALAYSIA:

<Mr. Nik Nasruddin Mahmood> (マレーシアリモートセンシングセンター所長)
Director,
Malaysian Centre for Remote Sensing (MACRES)
Ministry of Science, Technology and Environment

MONGOLIA:

<Dr. Mendbayariin Badarch> (国立リモートセンシングセンター所長)
Director,
National Remote Sensing Centre of Mongolia (NRSC),
Ministry for the Nature and Environment of Mongolia

*PAKISTAN:

<Dr. M. Ishraq Mirza> (パキスタン宇宙空間研究委員会)
Member (Space Research),
Pakistan Space and Upper Atmosphere Research Commission (SUPARCO)**

PHILIPPINES:

<Mr. Robert Seguritan Jara> (環境・天然資源省 課長)
Division Chief,
Department of Environment and Natural Resources (DENR)

*RUSSIA:

<Mr. Alexander Medvedchikov> (ロシア宇宙庁副長官) : 宇宙開発委員会招へい
Deputy Director General,
Russian Space Agency (RSA)**
<Mr. Youri Zonov> (ロシア宇宙庁国際課長)
Chief, International Relations Office, RSA

Singapore:

<Prof. Yean Joo Chong> (シンガポール大学物理学助教授)
Associate Professor of Physics, Dept. of Physics,
National University of Singapore (NUS)

*Thailand:

<Dr. Paibul Ruangsiri> (タイ国家研究評議会リモートセンシング課長)
Director, Remote Sensing Division,
National Research Council of Thailand (NRCT)

ニュージーランド研究科学技術省 : 不参加

インド宇宙研究機関 (ISRO) : 不参加

米国 NASA : 不参加